

地方からの

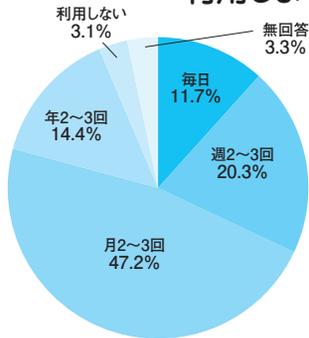
日本創造



約束・実現の 行・動・宣・言

● Homepage : <http://www.e-amagasa.net> ● E-mail : amagasa@khaki.plala.or.jp

Q 完成後はどれくらい 利用しますか

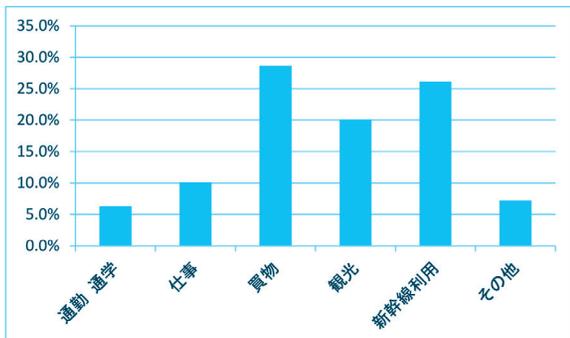


完成後どれくらい利用しますか？

回答数	構成比
毎日	56 11.7%
週2~3回	97 20.3%
月2~3回	226 47.2%
年2~3回	69 14.4%
利用しない	15 3.1%
無回答	16 3.3%
計	479 100.0%

「延伸が完成したらどれくらい利用するか」という問いに、毎日と答える人が約12%。新たまプラザ間のバスの利用者か、JR南武線経由で田園都市線へ出ている人たちだろう。時間がかかるバス便ではなく、利便性が良くなれば、少なくとも月数回は出かけると思える人が70%を超える結果となった。

利用目的は



完成後利用する駅で新百合ヶ丘がトップなのは、乗車駅としてもだが、虹ヶ丘地域の人が新百合ヶ丘に出たいという要望が強い。また、王禅寺付近に新駅を希望する声もあった。

延伸の必要度と利用頻度の関係

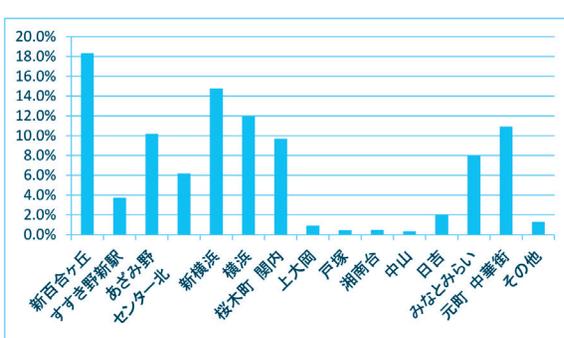
選択項目	総計		必要		不要		どちらでもない	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
毎日	56	11.7%	55	12.7%	0	0.0%	1	6.7%
週2~3回	97	20.3%	97	22.5%	0	0.0%	0	0.0%
月2~3回	226	47.2%	222	51.4%	0	0.0%	3	20.0%
年2~3回	69	14.4%	49	11.3%	10	37.0%	9	60.0%
利用しない	15	3.1%	1	0.2%	13	48.1%	1	6.7%
無回答	16	3.3%	8	1.9%	4	14.8%	1	6.7%
合計	479	100.0%	432	100.0%	27	100.0%	15	100.0%

必要だと思う人の利用頻度と年齢の関係

選択項目	総計		毎日		週2~3回		月2~3回		年2~3回	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	13	3.0%	3	5.5%	4	4.1%	4	1.8%	2	4.1%
30代	59	13.7%	15	27.3%	11	11.3%	25	11.3%	6	12.2%
40代	73	16.9%	18	32.7%	10	10.3%	31	14.0%	11	22.4%
50代	53	12.3%	8	14.5%	11	11.3%	25	11.3%	9	18.4%
60代	109	25.2%	6	10.9%	25	25.8%	71	32.0%	5	10.2%
70代以上	120	27.8%	4	7.3%	35	36.1%	63	28.4%	16	32.7%
無回答	5	1.2%	1	1.8%	1	1.0%	3	1.4%	0	0.0%
合計	432	100.0%	55	100.0%	97	100.0%	222	100.0%	49	100.0%

今回の調査は、住民の素直な気持ち数字が表された。「毎日」(12.7%)、「週2~3回」(22.5%)、「月2~3回」(51.4%)、使いたいという人が、延伸が必要だと答えている。反対に「年2~3回」「利用しない」という人たちは「不要」が高率。年代との相関を見ると、「延伸したら毎日」使うという30代、40代、つまり職場へのアクセスが向上する人は「延伸は必要」と答えた人が多い。年代を問わず、あまり利用しない人は「不要」と答えている。

完成後利用する予定駅は

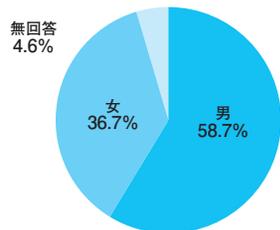


日々の通勤、通学は、路線が開通し利便性が向上すれば、今の6%から順次増えていくだろうが、それ以外にブルーラインは買物、観光と新幹線利用という目的が高いこともポイントの一つ。港北ニュータウンエリアや横浜、元町、中華街と買物、観光スポット(男60代)。日産スタジアム利用(男70代以上)など。これに加え、通院(男40代、女70代以上)など、区役所等、税務署(男70代以上)、震災時の迂回路として危機管理(男60代)という意見も。他方、あざみ野、新百合ヶ丘間のバス便が十分。バス便が減る方が困るという意見も。

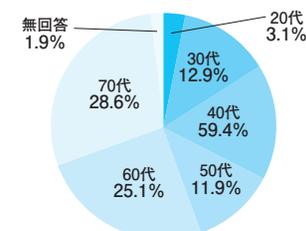
利用したい人は必要30代~40代は通勤で毎日使いたいと思っている

「新横浜」「横浜・関内」「みなとみらい」「元町中華街」

性別

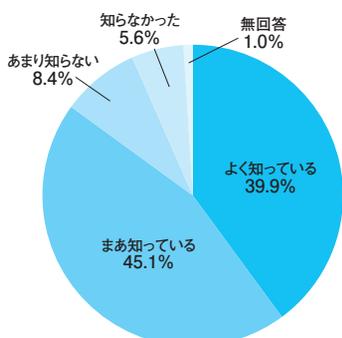


年齢



麻生区内約6万5千世帯に「麻生通信2013年第一号」として配布。郵送で1月中に回答をいただいた479通を集計した。60代、70代以上の割合が多かったが、月割回が多かったという傾向がみられ、麻生区からと思われる。

Q 延伸計画を知っていましたか



延伸計画を知っていましたか

認知度	人数	構成比
よく知っている	191	39.9%
まあ知っている	216	45.1%
あまり知らない	40	8.4%
知らなかった	27	5.6%
無回答	5	1.0%
計	479	100.0%

計画の認知度は85%

延伸区間の事業費概算

地元負担は170~230億円

川崎市のまちづくり局交通対策室によると、横浜市の地下鉄建設費は、駅の敷地によって変動しますが、1キロメートル当たり約200億円です。あざみ野駅から新百合ヶ丘駅間の直線距離は約6キロなので、建設距離を6~7キロと想定すると1200億円から1400億円となります。川崎市域分を建設距離の半分と考え、地元負担額を計算すると、これ第1種鉄道事業(これが可能)です。

までの補助金方式)の場合、事業費の28%が地元負担の半分、つまり170億円。都市鉄道利便増進事業として計算すると事業費の3分の1が地元負担となり、その半分の200億円となります。いずれも地元負担額(一般会計分)の起債充当が可能です。